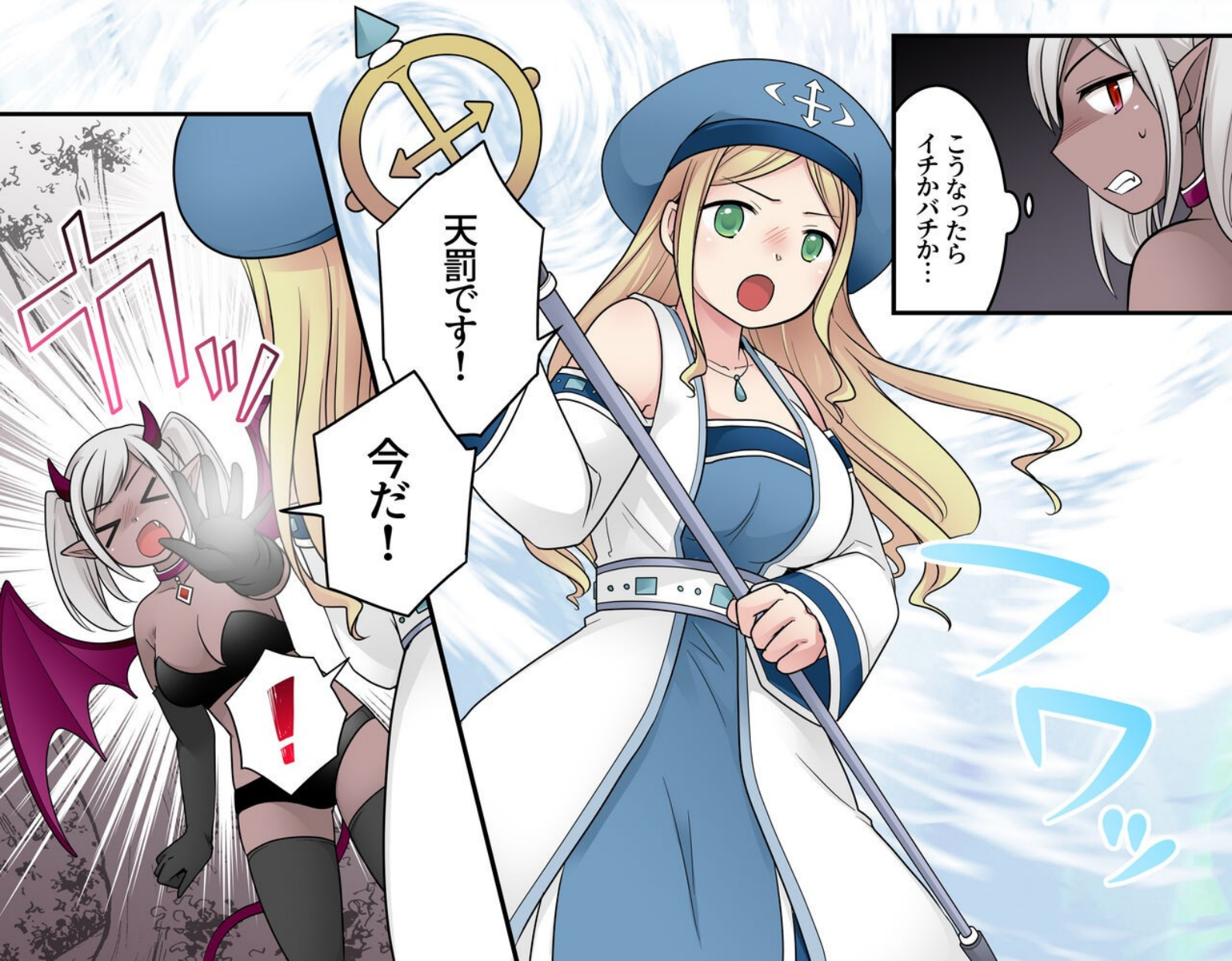


轉換の呪い

原作：なの
作画：倉塚りこ



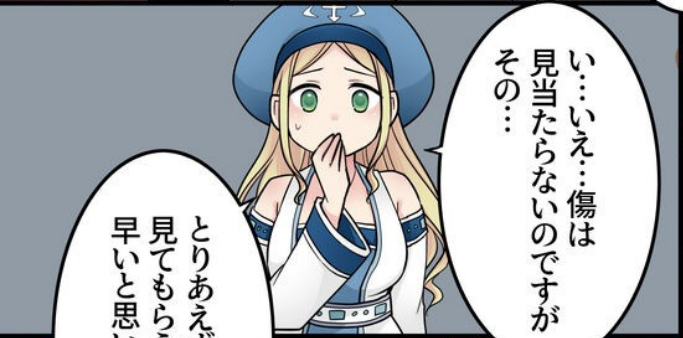




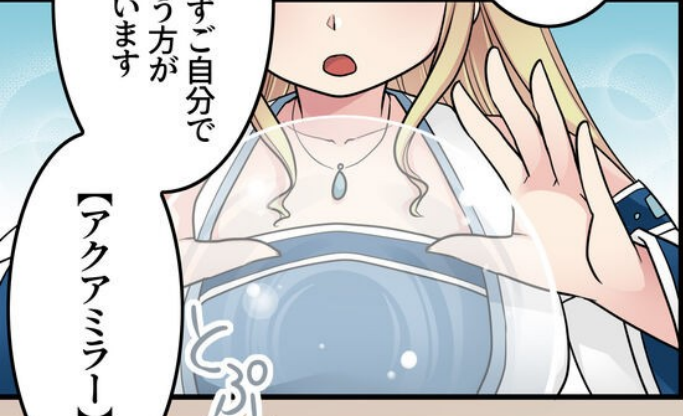
声も上手く
出せないみたいだ



どうした...?
そんなに俺は重症なのか...



い...いえ...傷は
見当たらないのですが
その...



とりあえずご自分で
見てもらう方が
早いと思います
【アクアマミラー】



な...
なんだこれ!



そんな…これは元に戻るのか？

わかりません…こんな魔法は初めてで…

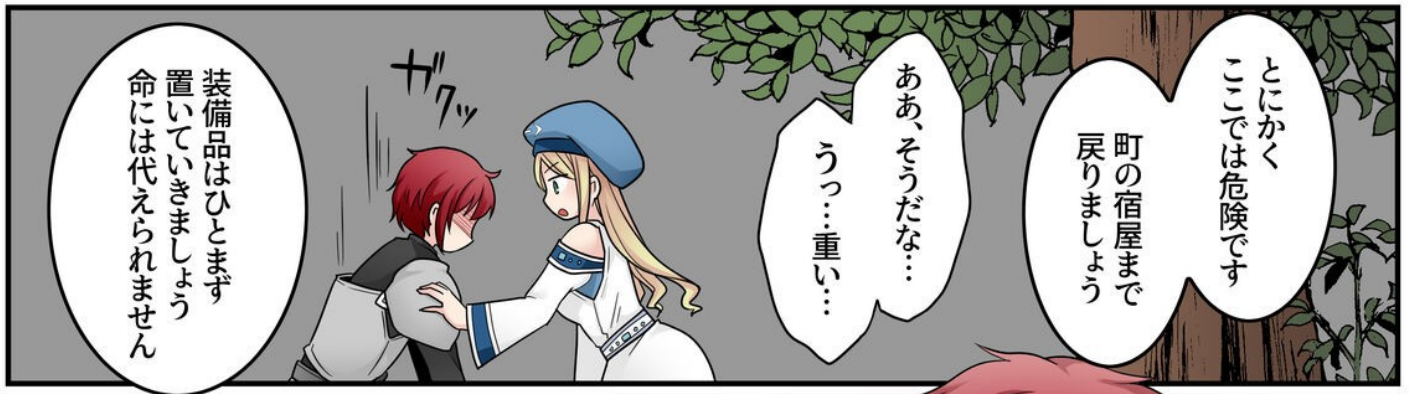
またまた



恐らく女性に なっています…

身体が重いのも魔法によるダメージ等では無く

身体が変化し筋力が落ちたことで 武具の重さに耐えきれ無くなったものだと思われれます…



とにかくここでは危険です

町の宿屋まで戻りましょう

ああ、そうだな…

うっ…重い…

装備品はひとまず置いていきましよう 命には代えられません



すまない…

そうだエステル君は大丈夫なのか？

ええ 聖職者は魔法の耐性がある程度あるので 私には余り効果が無かったようです

少し眩しかったですけどね

ふひん



そうか
それなら良かった

じゃあ町に戻ろうか

はい



はやか

すみません
私の替えの物ですが
何も無いよりはマシだと思
いますので...



ん

んんんんん

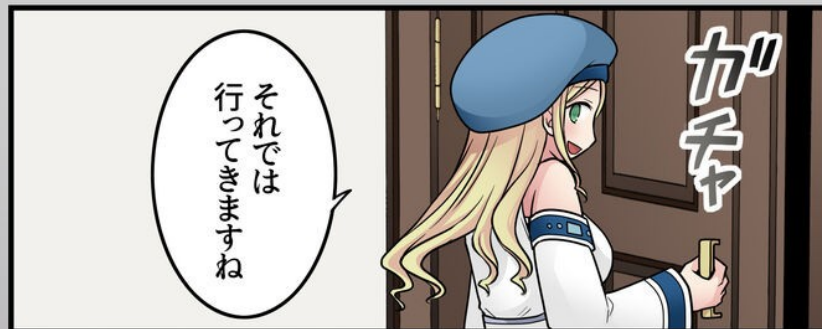
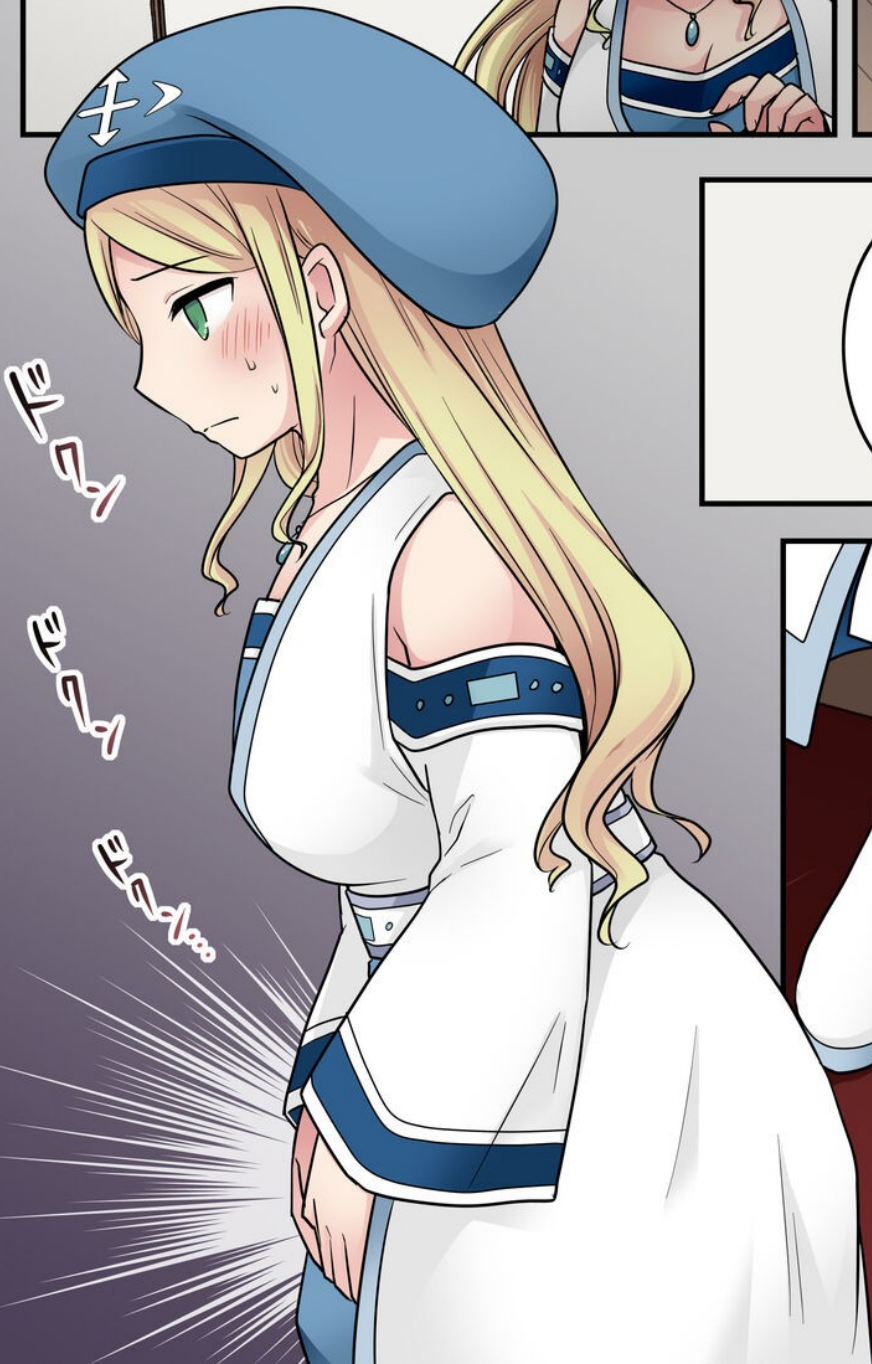


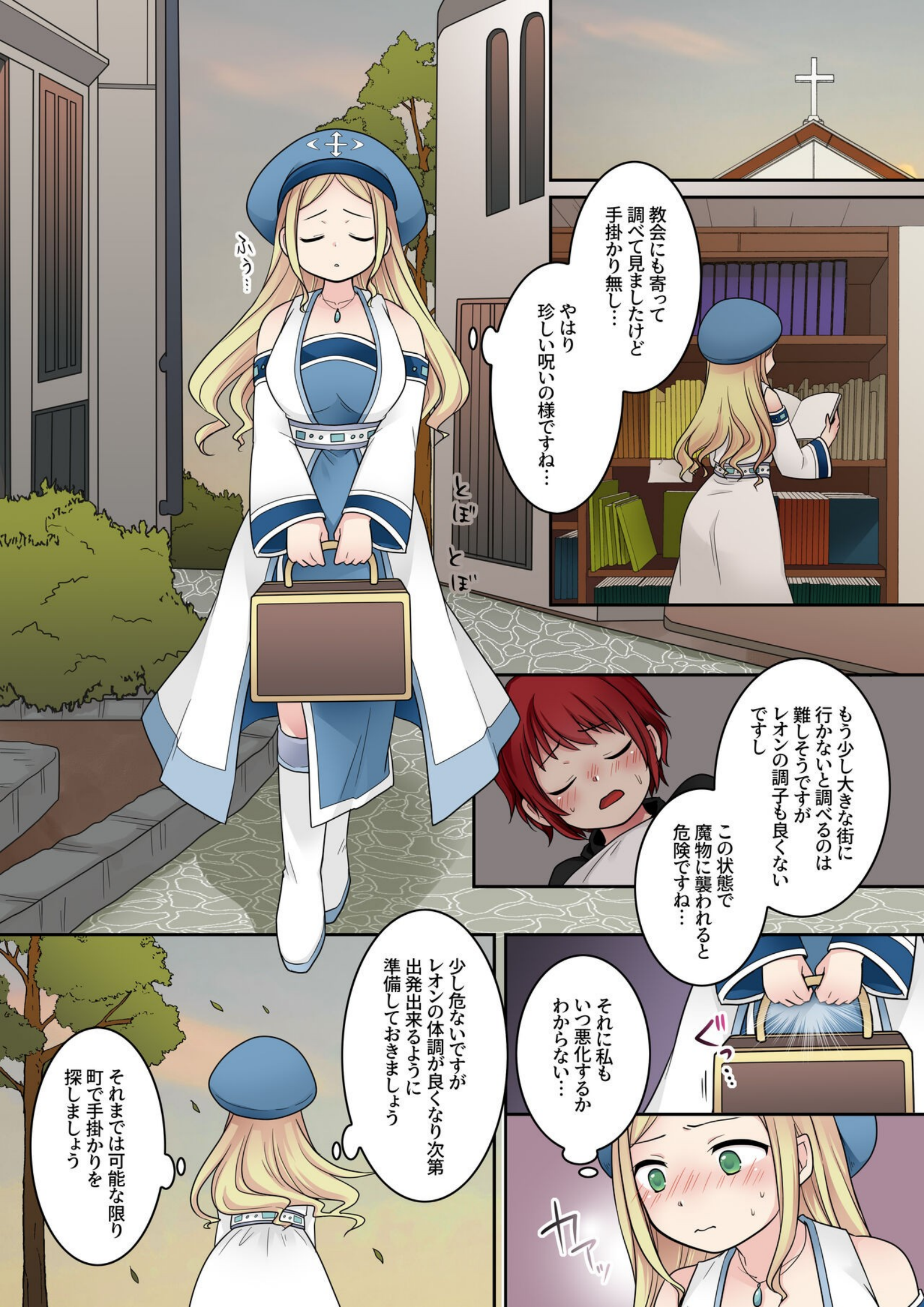
息が荒いですが
大丈夫ですかレオン?

それに
顔も少し赤いです

ああ...この体にされて
だいたい体力が落ちたらしい...
すまない...

はあ
はあ





ふう…

教会にも寄って
調べて見ましたけど
手掛かり無し…

やはり
珍しい呪いの様ですね…

とほ
とほ

もう少し大きな街に
行かないと調べるのは
難しそうですが
レオンの調子も良くない
ですし

この状態で
魔物に襲われると
危険ですね…

少し危ないですが
レオンの体調が良くなり次第
出発出来るように
準備しておきましょう

それまでは可能な限り
町で手掛かりを
探しましょう

それに私も
いつ悪化するか
わからない…

カアッ



レオン大丈夫…



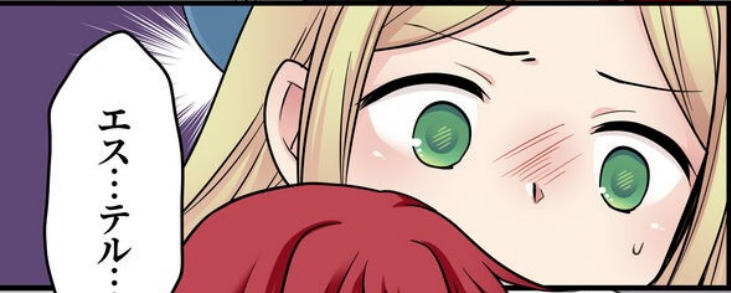
レオン？

寝ているのじゃないか…



世チャ

ただいま帰りました



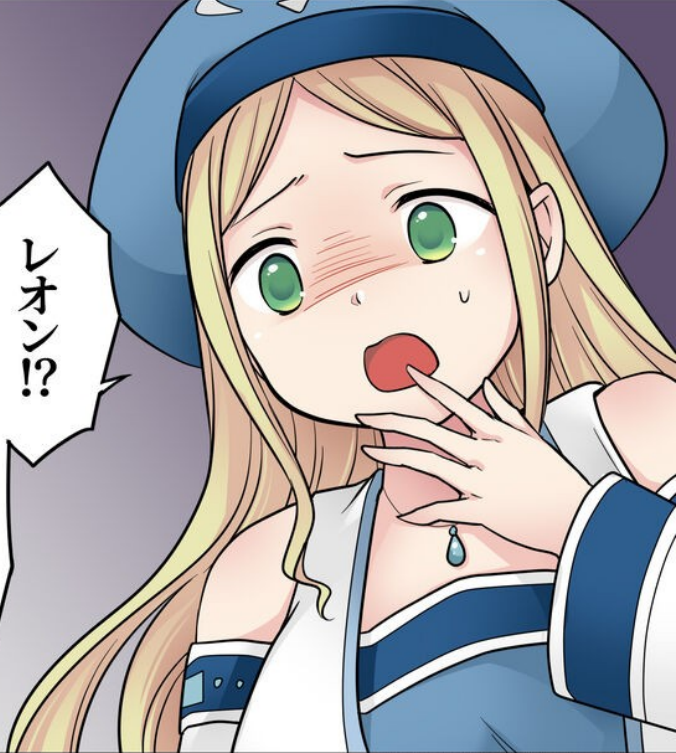
エス…テル…



はっ
はっ

レオン!?

どこか具合が
悪いのですか!?



あっ…

むね…

数時間前より
女性らしくなっている…
呪いが進行している…
こんなに短時間で進行するの？
でも私は変化無し…
どうして？
耐性のおかげ？
それとも他に要因が…



レオン…
もしかして…その…
股間を触ったりしましたか…?

ああ…何だか
お腹の辺りがムズムズして
股間も疼くん…

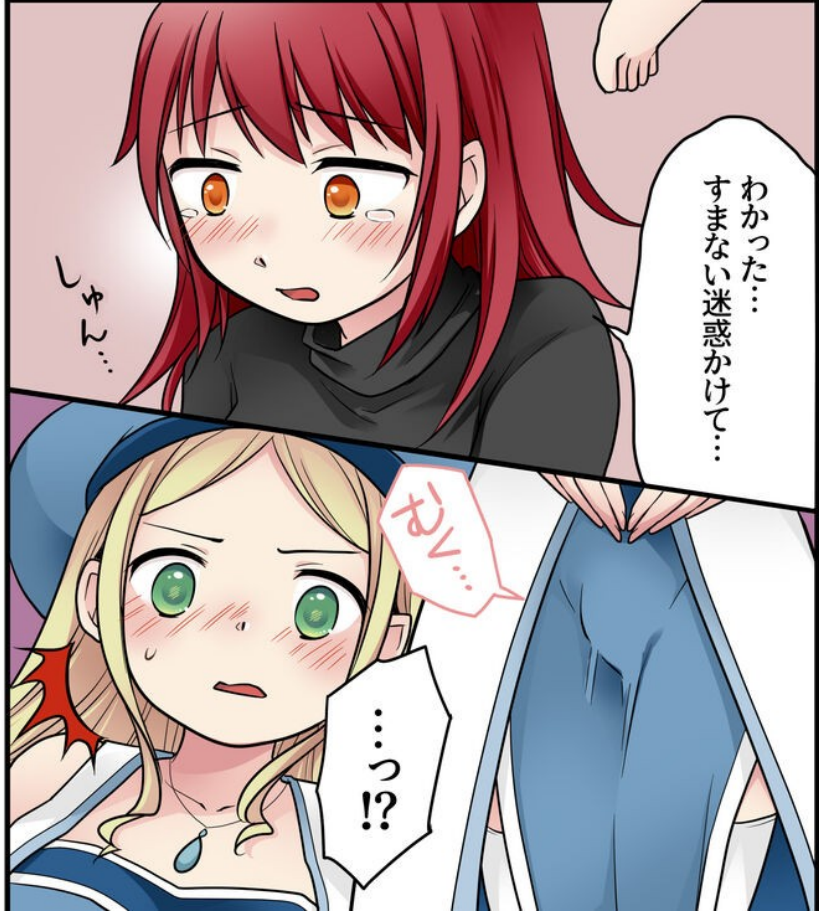
これも呪いのせいか…?

そうですね…
ですがお陰で呪いの
進行条件がわかりました

おそらく
性的な快樂でしょう

はあ
はあ

快樂…?

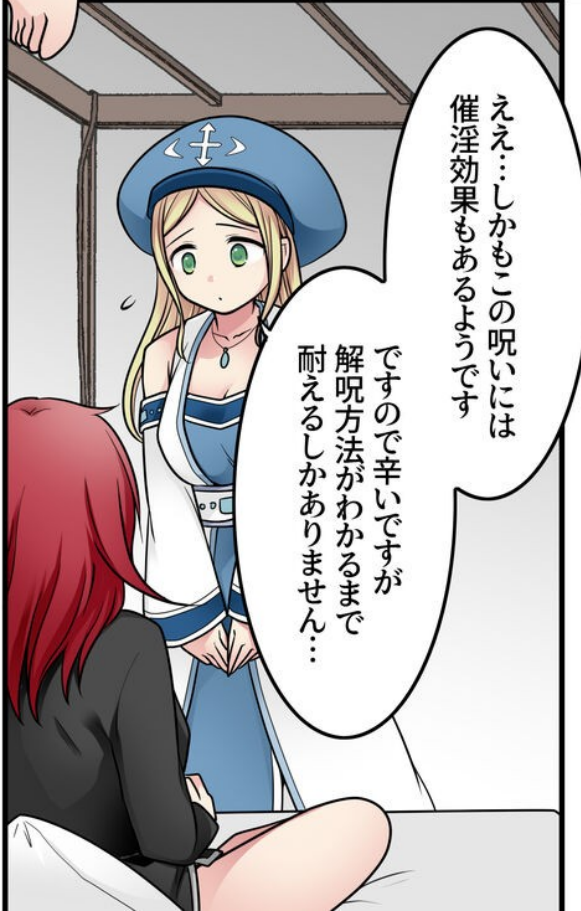


わかった…
すまない迷惑かけて…

しゅ…

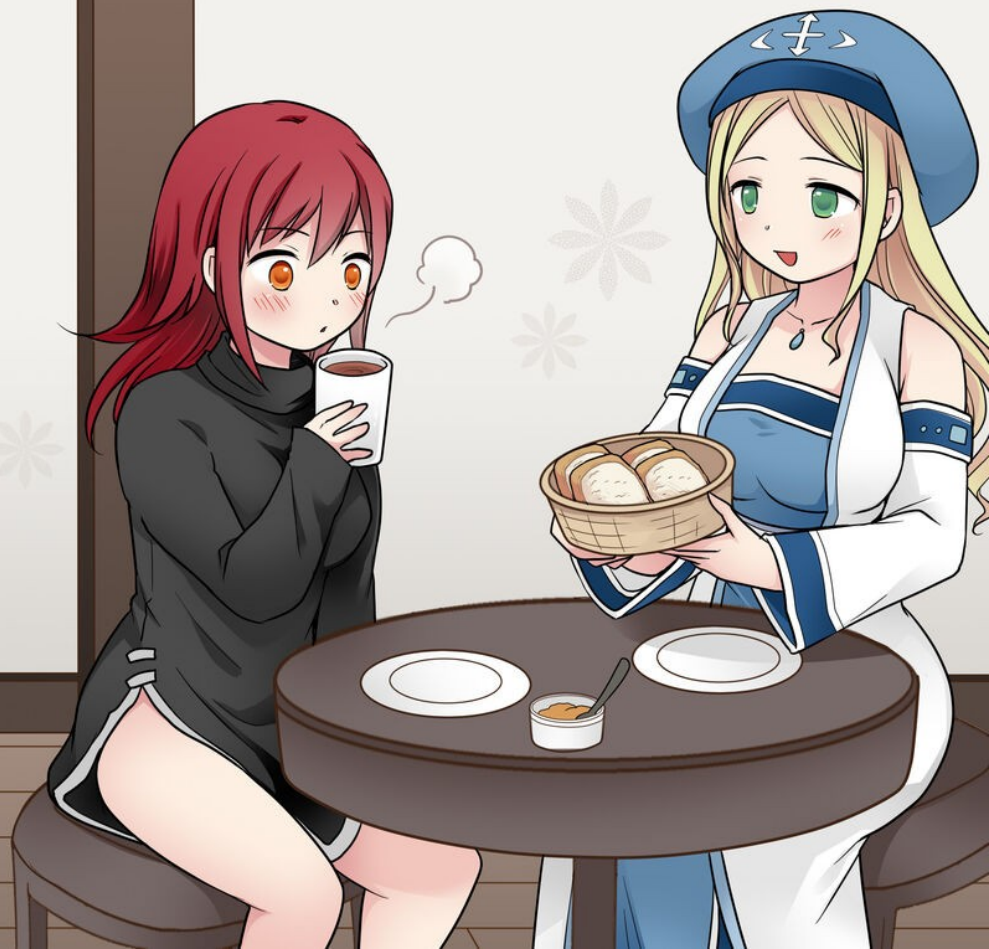
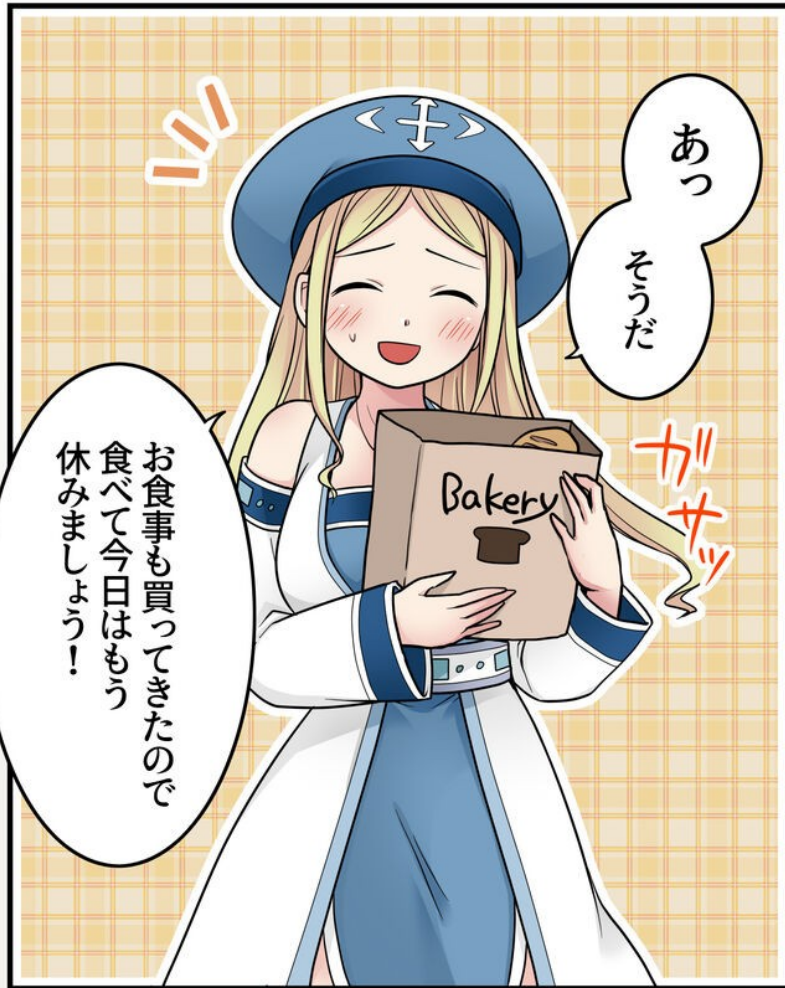
む…

…っ!
!?



ええ…しかもこの呪いには
催淫効果もあるようです

ですので辛いですが
解呪方法がわかるまで
耐えるしかありません…



あれが男性の
気持ちなんですネ…
私の意思とは関係無く
反応するなんて…

それにあの時のレオン…
可愛かったですね…

あっ…また…

むくくッ

宿に着いた時より
少しだけ大きくなってる…?

もしかして反応するだけでも
少しずつ進行するの…?

私が何とかしないと…

明日からはもっと足を伸ばして
町中を巡ってみましょう

数日歩き回った結果

町のギルドの書庫を調べさせて貰った時に見つけた古い文献にその呪いの記述がありました

その1
それは元の性別の要素を反転させ発情効果を付与する

その2
反転させるだけに止まらず反転時に生じた要素を増加させ対象をより男性らしく女性らしくしてしまう

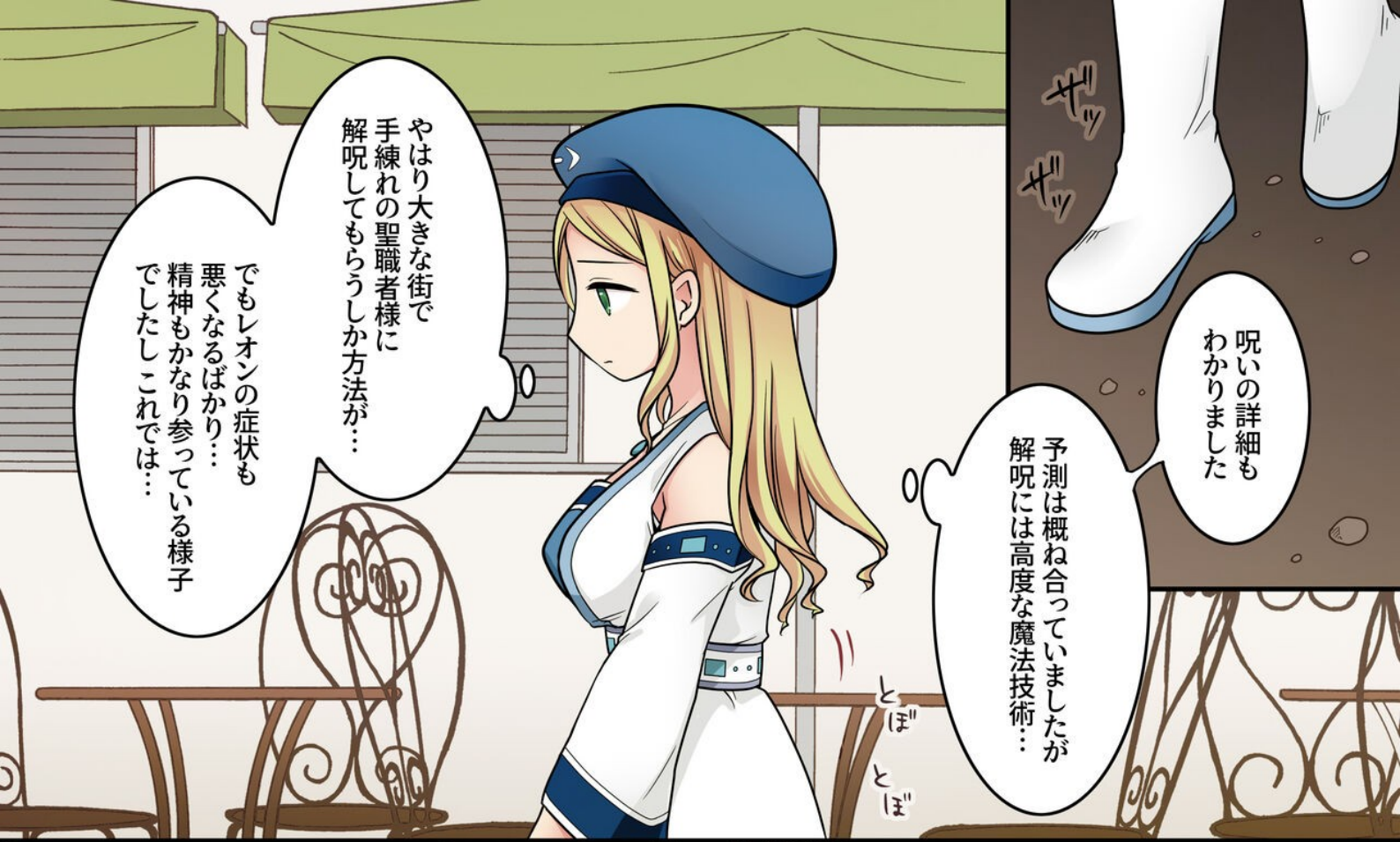
その3
何もしていなくとも症状は進行し
快乐が生じる事により加速する

その4
進み過ぎた呪いは解呪出来なくなる

その5
解呪には高度な魔法技術が必要である

……

ギヤッ



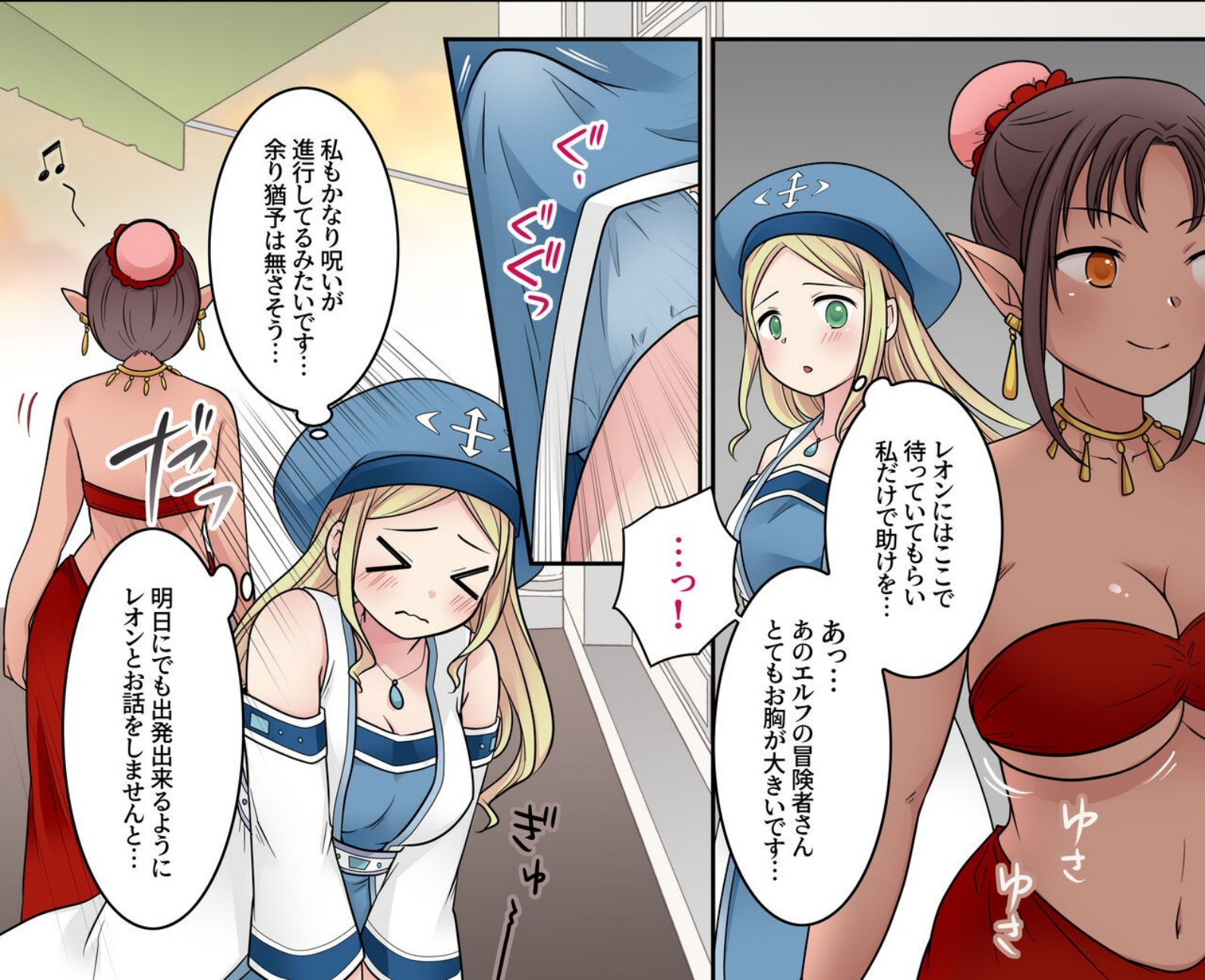
呪いの詳細も
わかりました

予測は概ね合っていました
が
解呪には高度な魔法技術…

やはり大きな街で
手練れの聖職者様に
解呪してもらおうしか方法が…

でもレオンの症状も
悪くなるばかり…
精神もかなり参っている様子
でしたしこれでは…

とぼ
とぼ



レオンにはここで
待っていてもらい
私だけで助けを…

あつ…
あのエルフの冒険者さん
とてもお胸が大きいです…

…っ！

私もかなり呪いが
進行してるみたいです…
余り猶予は無さそう…

だ

明日にでも出発出来るように
レオンとお話をしませんと…

ギン
ギン

ゆさ
ゆさ





「これは呪いのせいです……！」

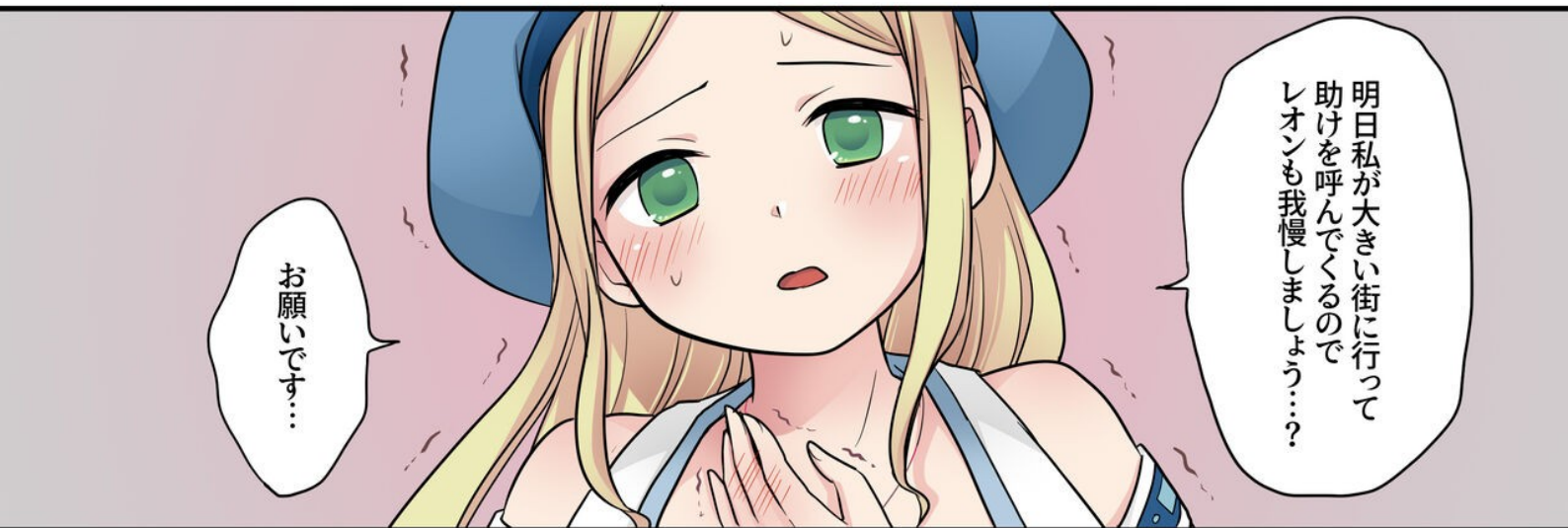
「いやっー！」



「?!」

「でもお…エステルもここ大きくしてるじゃないかあ…」

「はあ
はあ
はあ」



「明日私が大きい街に行つて助けを呼んでくるのでレオンも我慢しましょう…?」

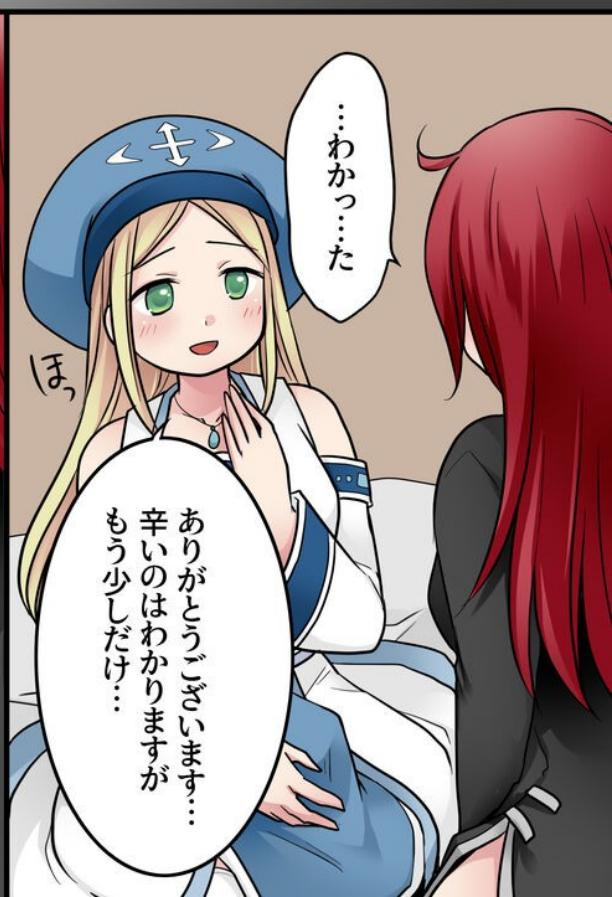
「お願いします…」



「…っ!?」



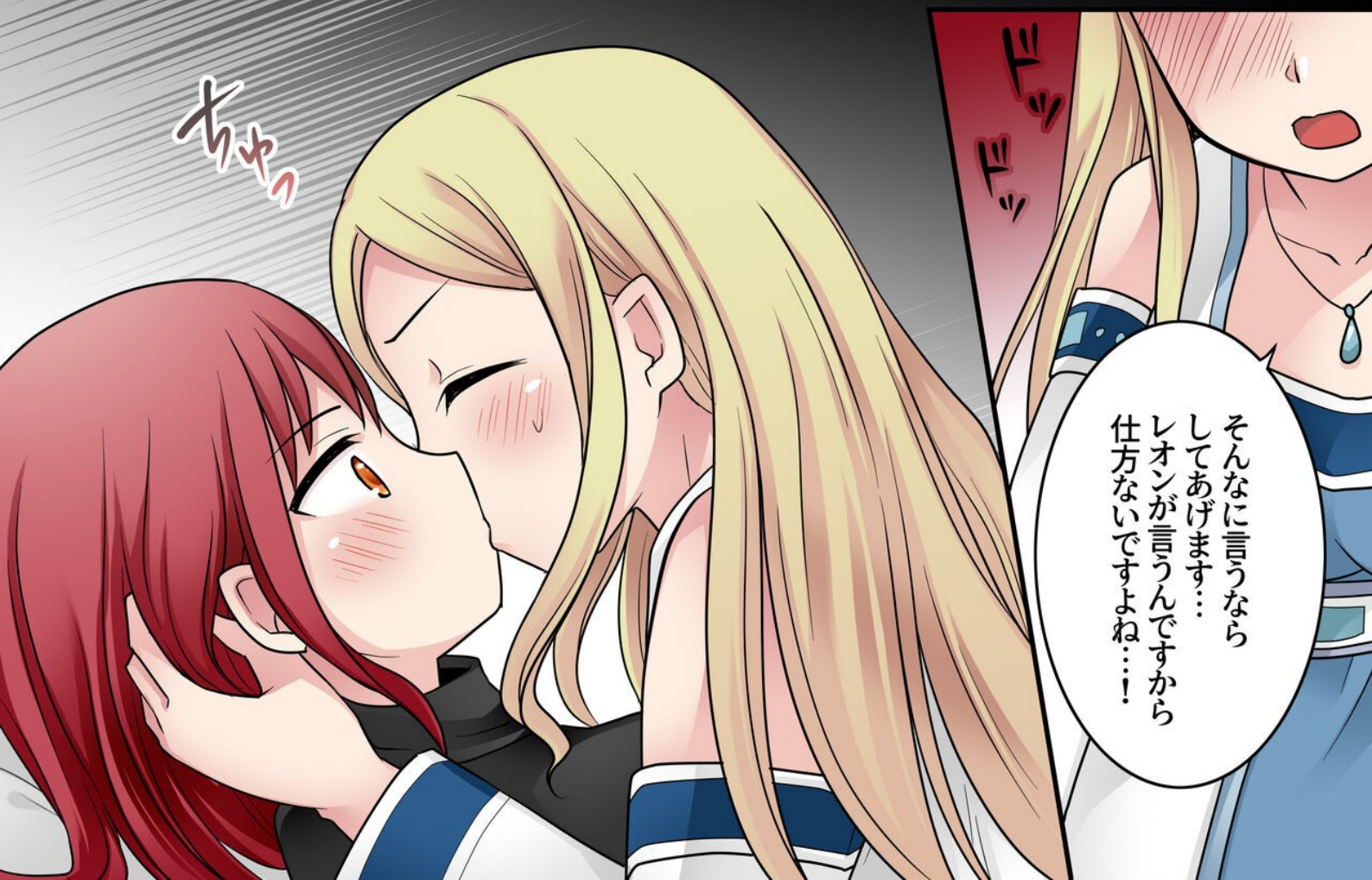
「…っ?」

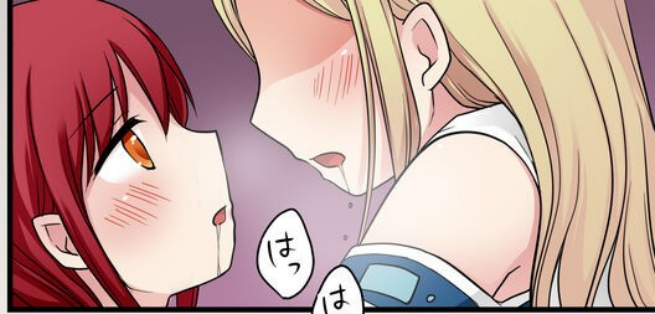


「ありがとうございます…辛いのはわかりますがもう少しだけ…」

「…わかつた」

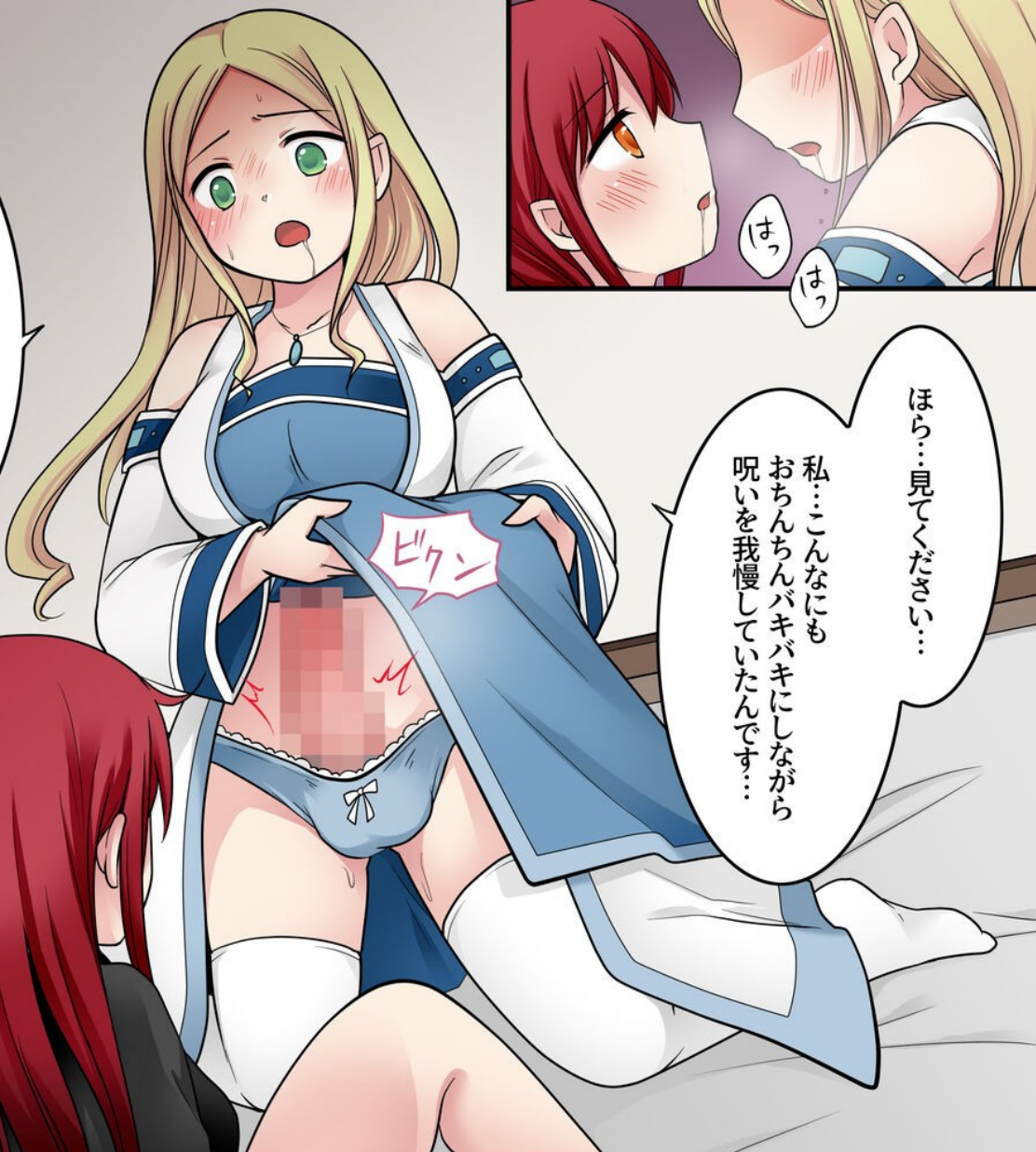
「ほ」



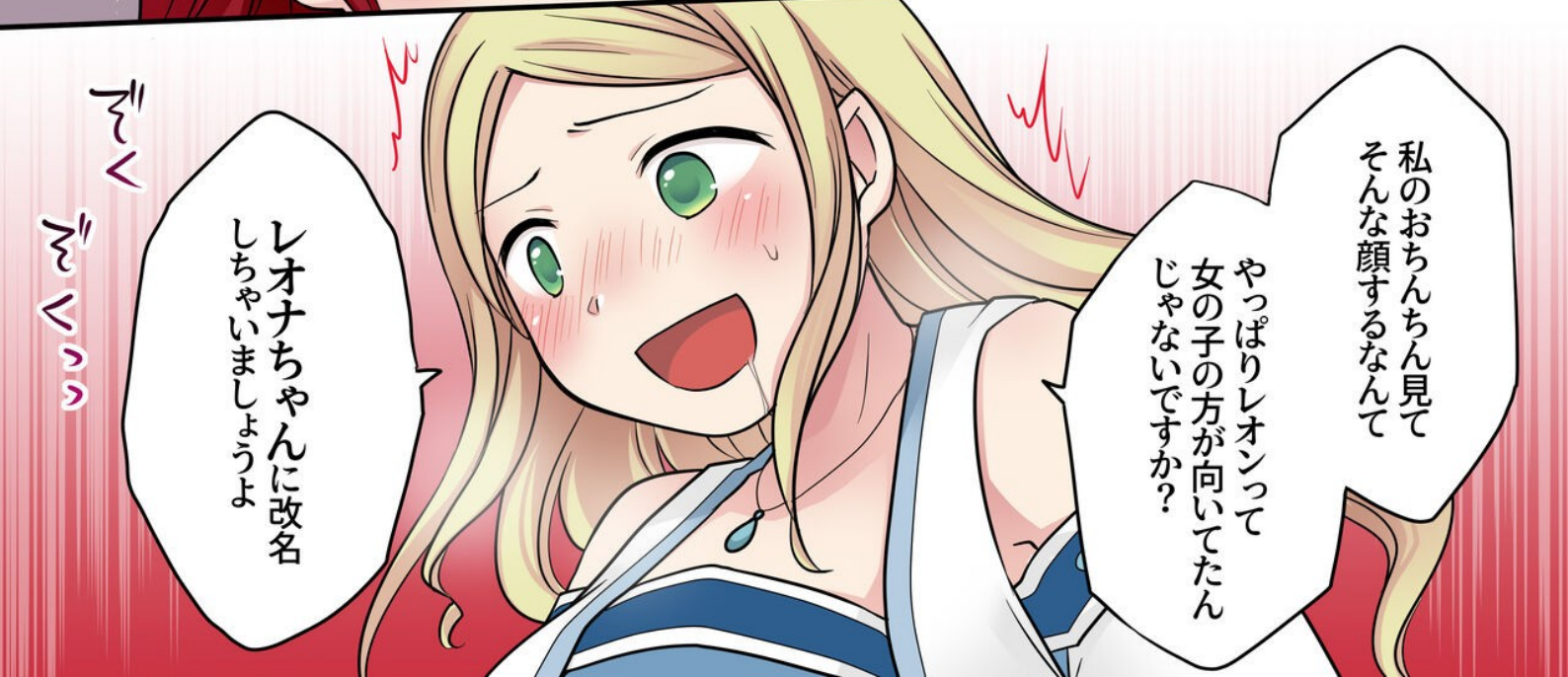
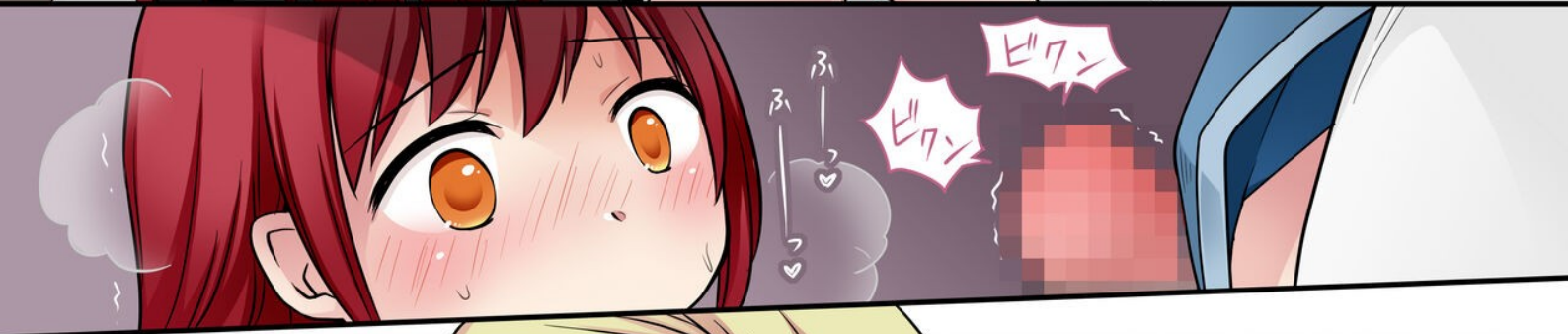


はっ
はっ

それなのにレオンったら
そんな発情した女の子の顔で
誘ってくるんだもん…



ほら…見てください…
私…こんなにも
おちんちんバキバキにしながら
呪いを我慢していたんです…

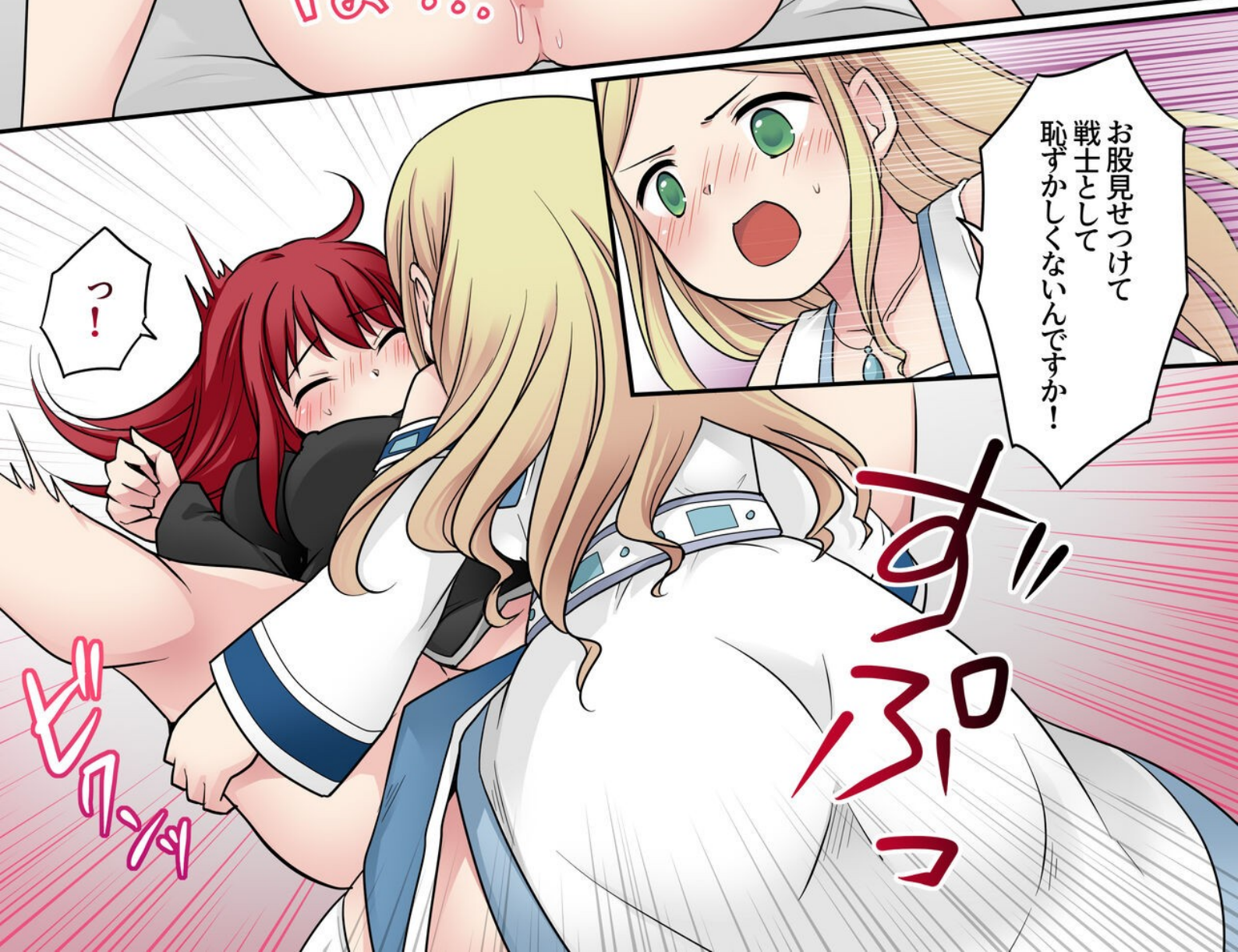


レオナちゃんに改名
しちゃいましょうよ

私のおちんちん見て
そんな顔するなんて
やっぱりレオンって
女の子の方が向いてたん
じゃないですか？



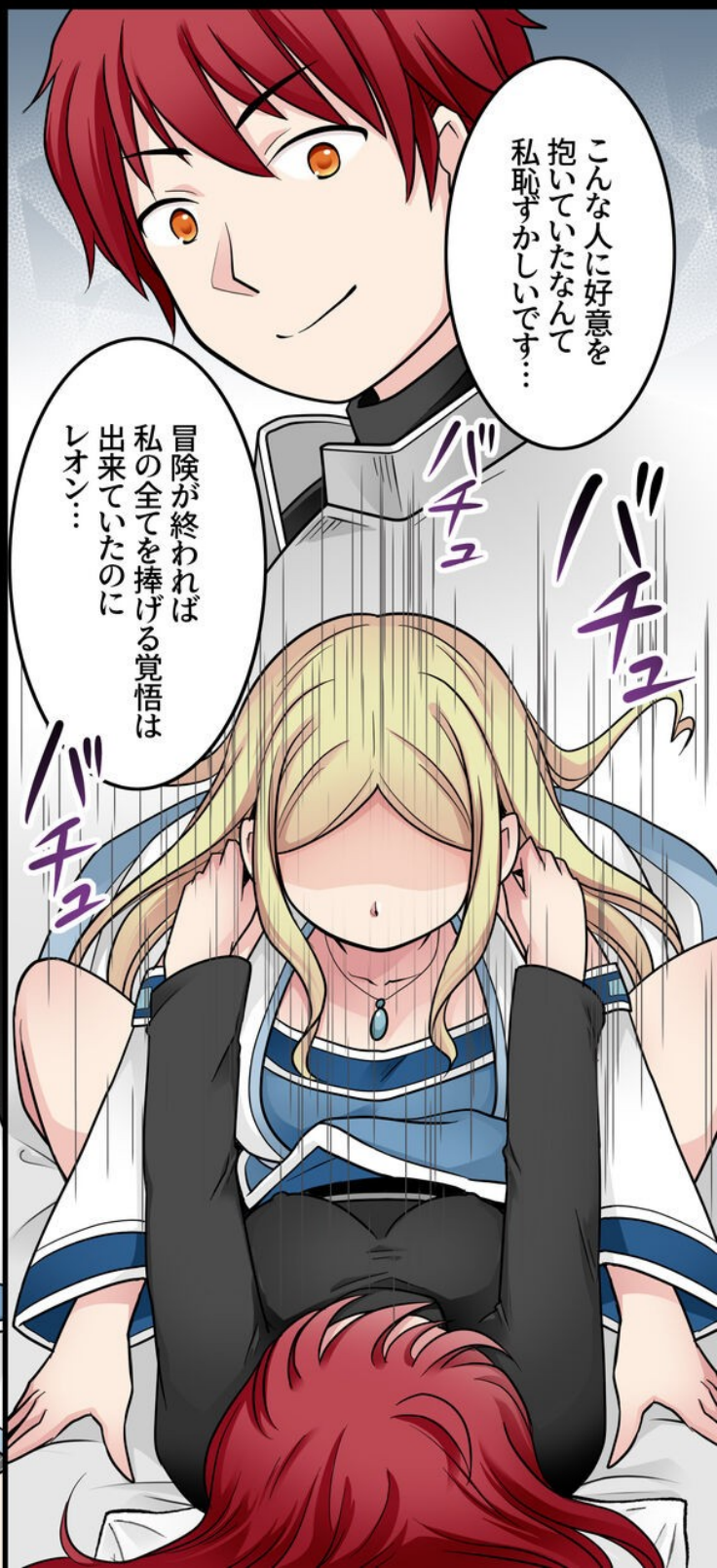
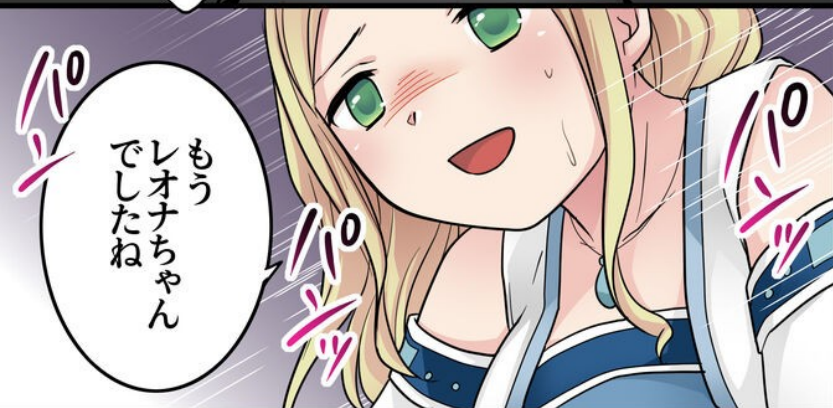
くは...♡♡



お股見せつけて
戦士として
恥ずかしくないんですか!

ずぶろっ

?!





凄いです！

おっぱいが大きくなって
私が動くたびに揺れて
とてもえっちなですよ
レオナちゃん！

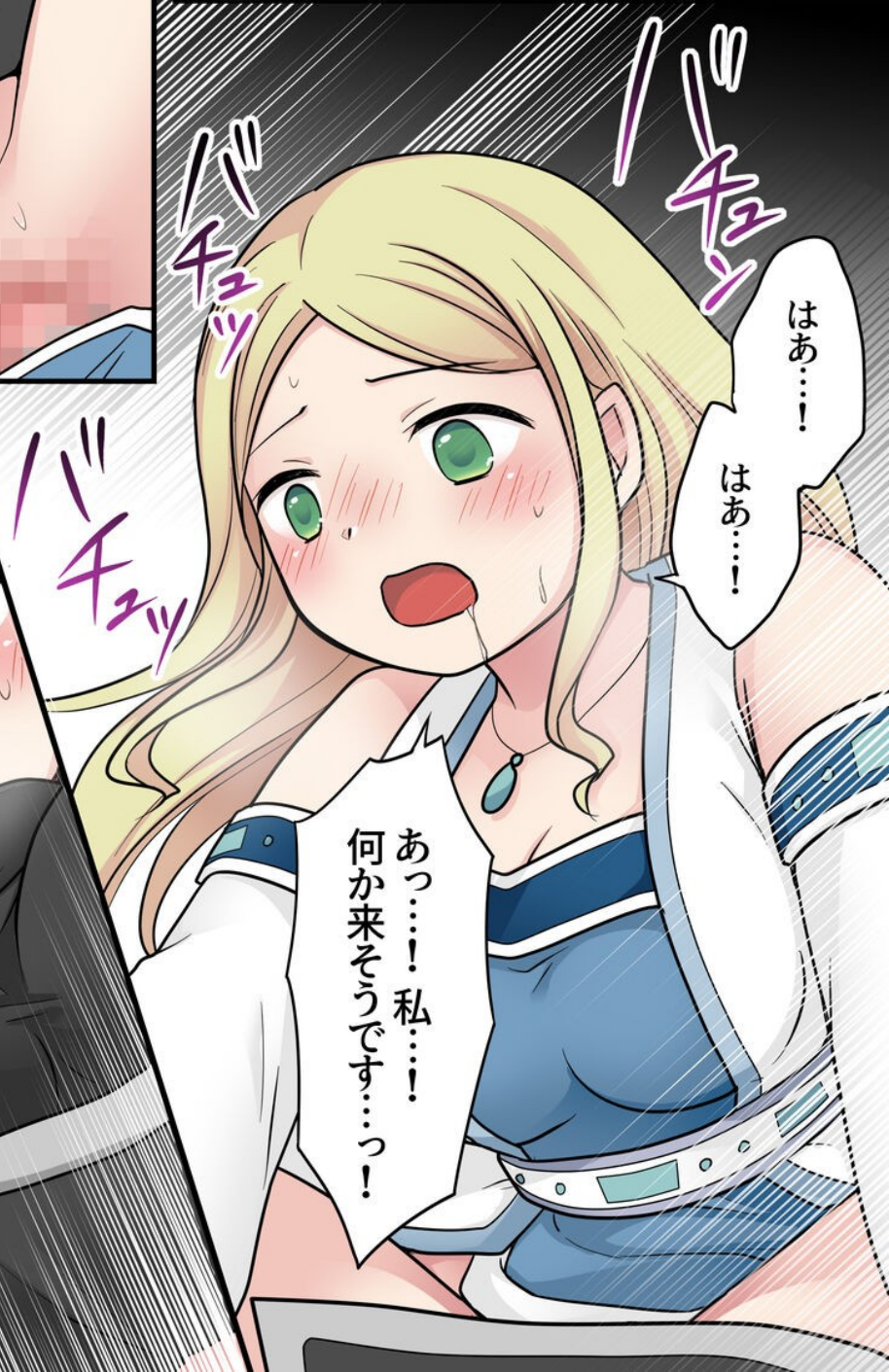


ほらほらレオナちゃん
そんなに気持ちいいんですか？

更に女の子らしく
なってきましたよ！



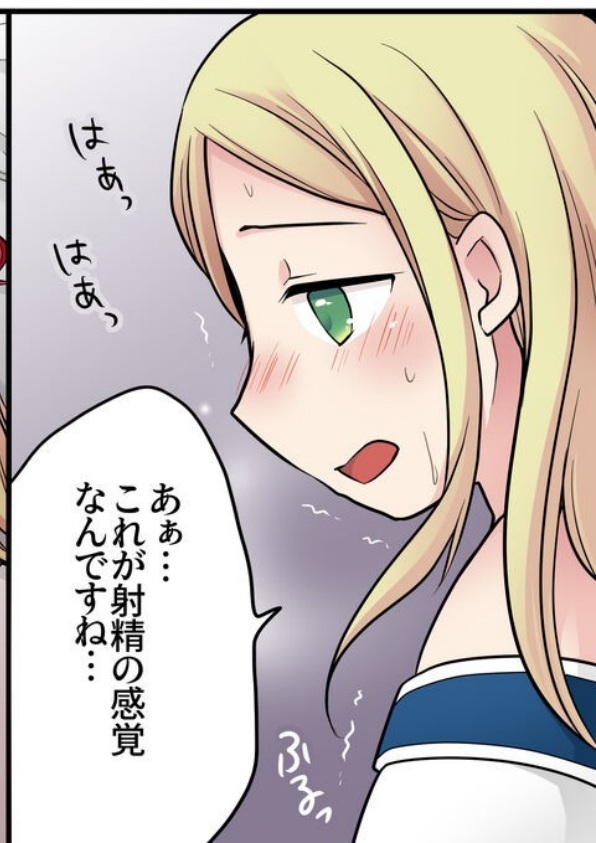
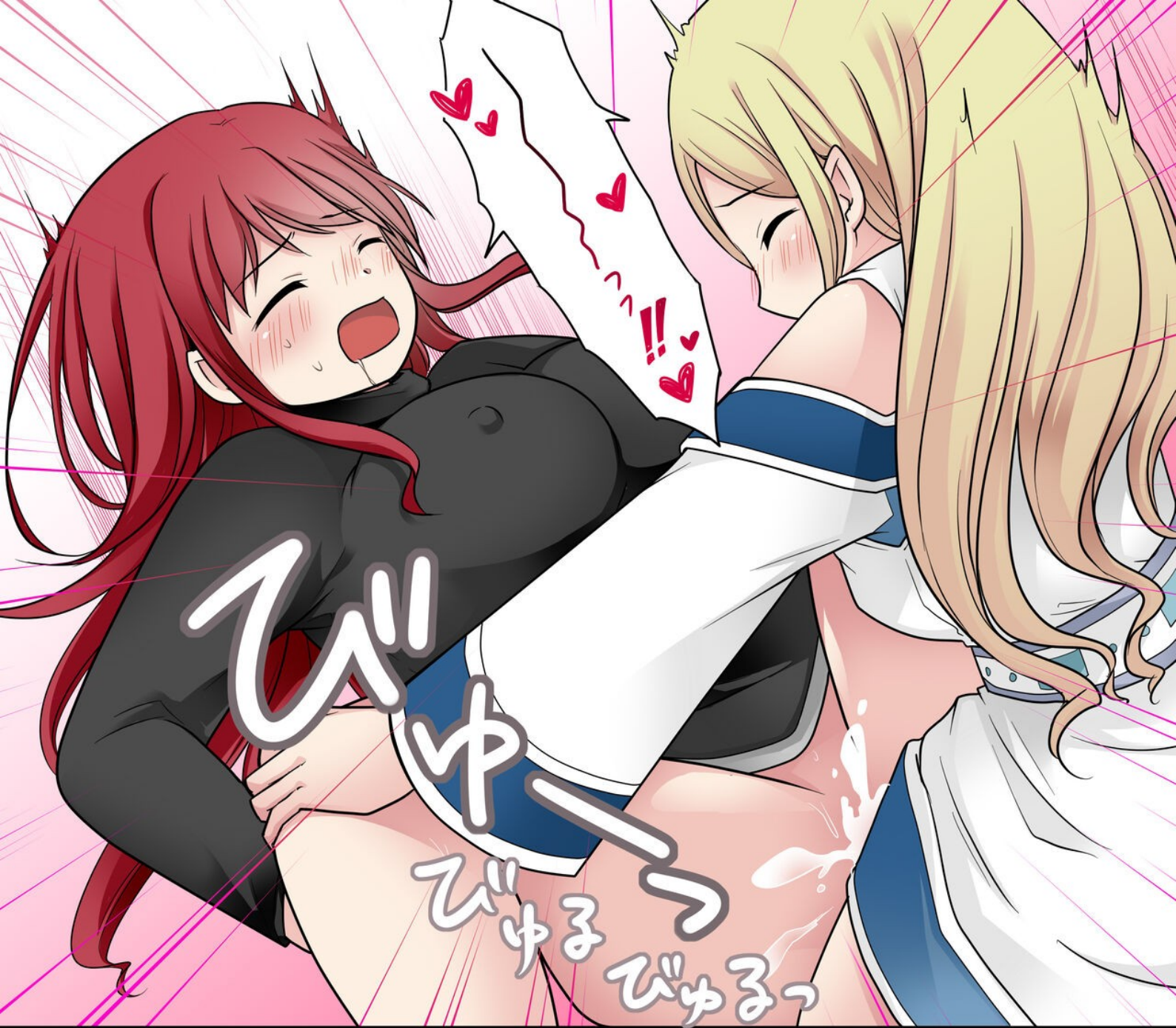
俺もお！
ナニかきちやう！
きちやう！！



はあ…！

はあ…！

あつ…！私…！
何か来そうです…っ！





むちいっ



私の精液を膣に入れたことで
更に呪いが活性化したの…？

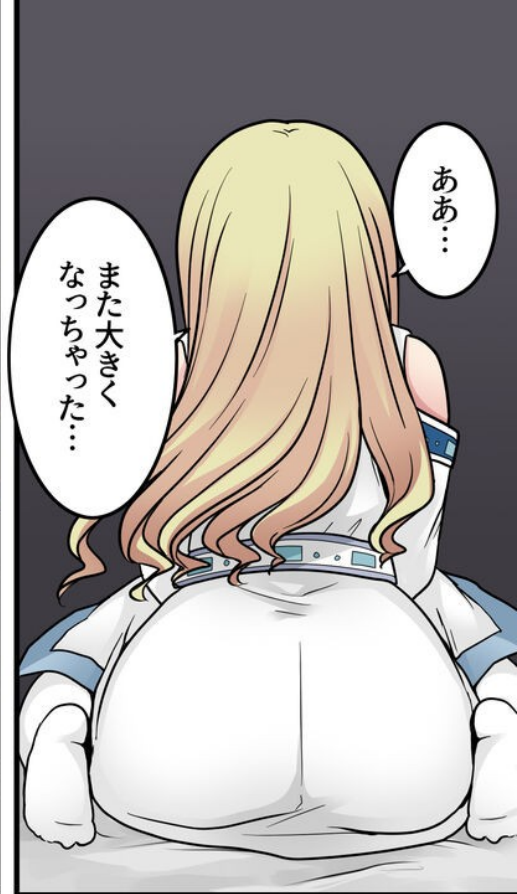
これって…もしかして



くち...

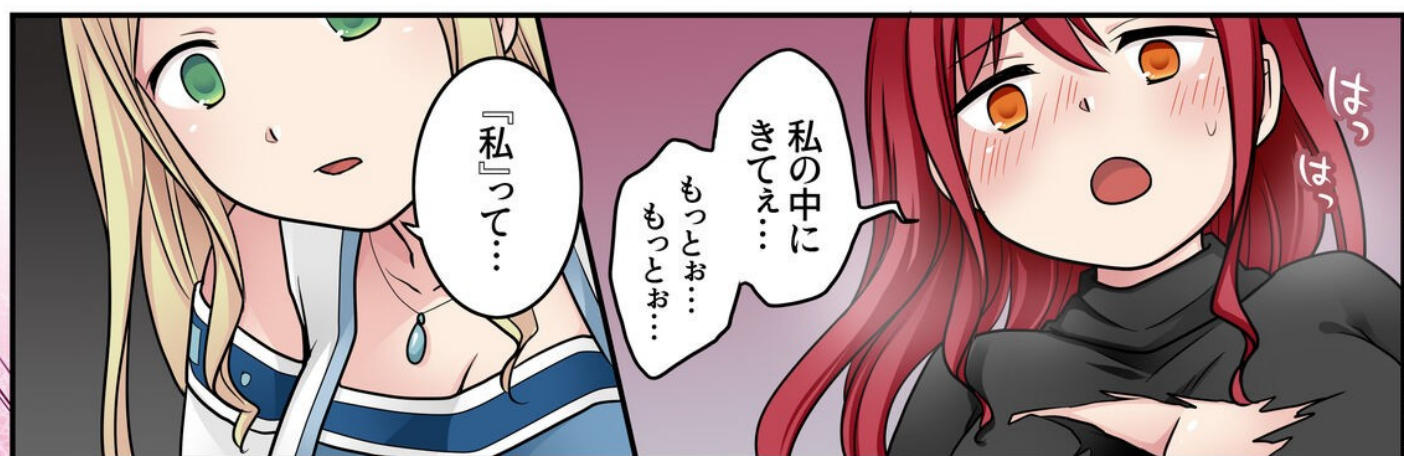
ゆら...

じゃあ
もう一回やらなきゃね...



ああ...

また大きく
なっちゃった...



『私』って...

私の中に
きてえ...
もっとお...
もっとお...

はっ
はっ



頭の中まで女の子に
なっちゃったんですね！

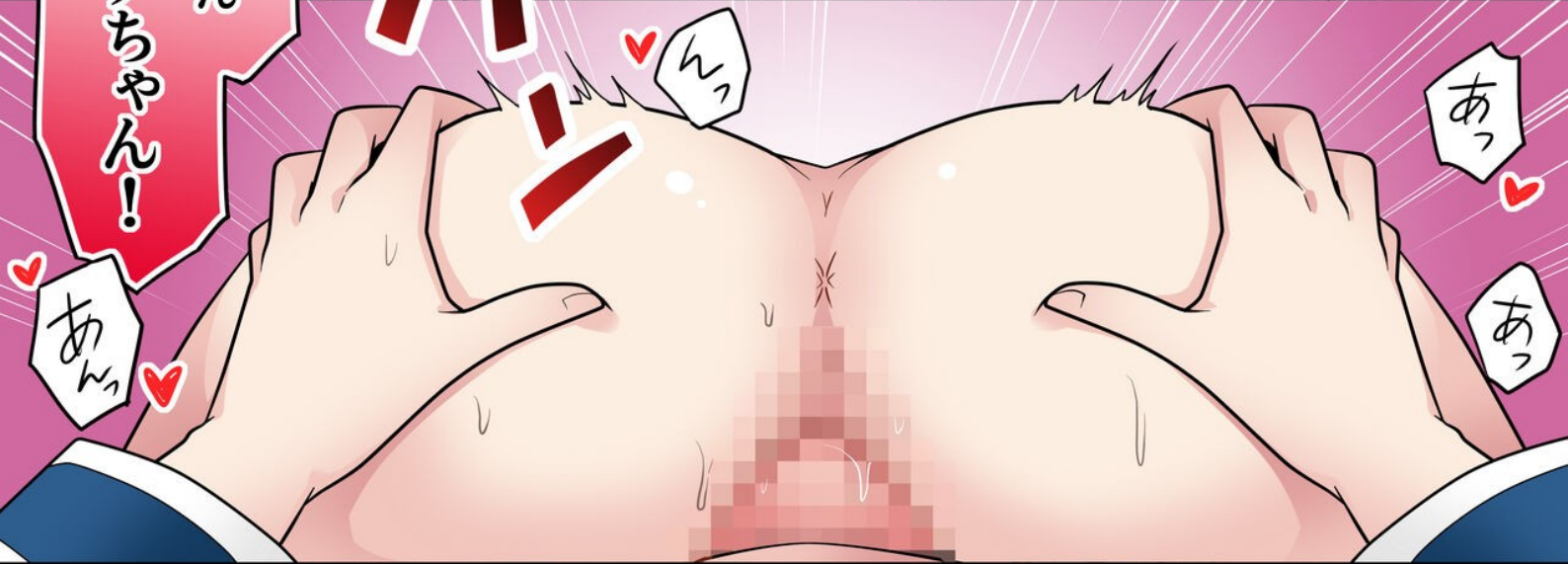
すっぽんっ





レオナちゃん
レオナちゃん
レオナちゃん!

はあ...
はあ...



あっ

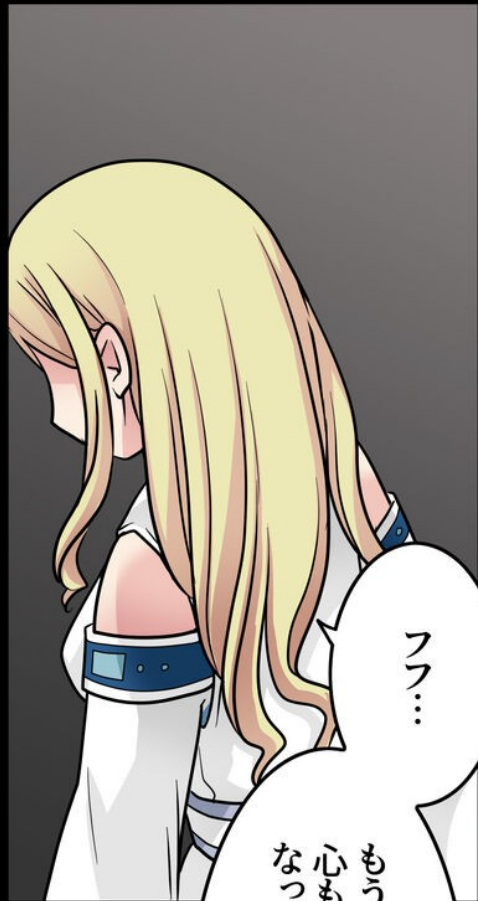
あっ

あっ

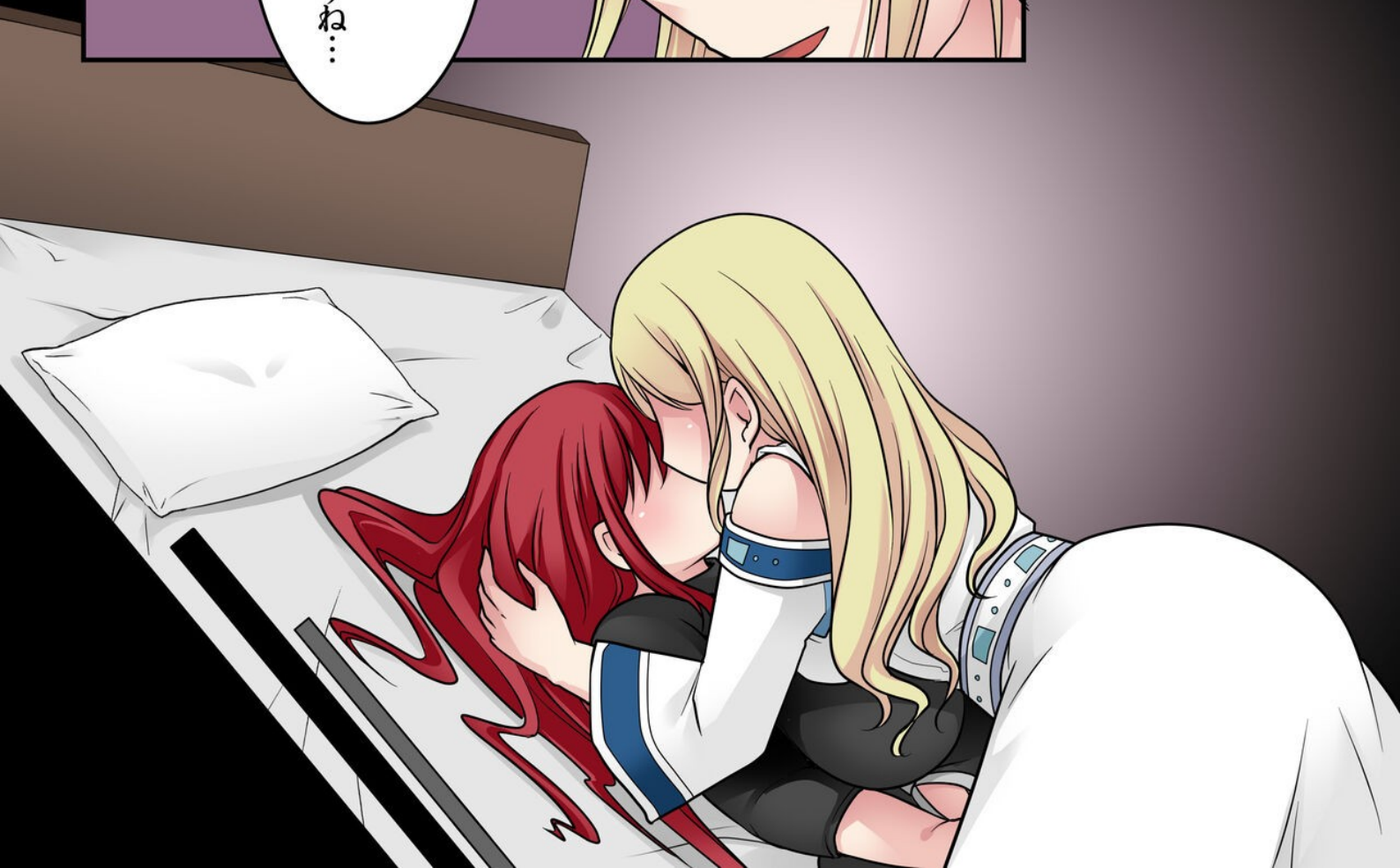
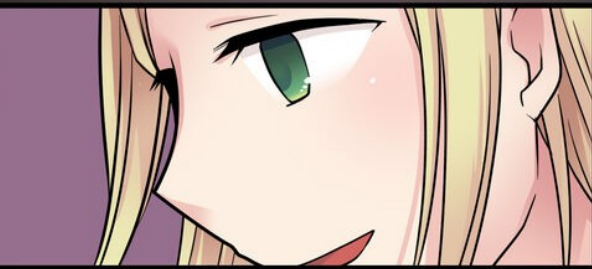


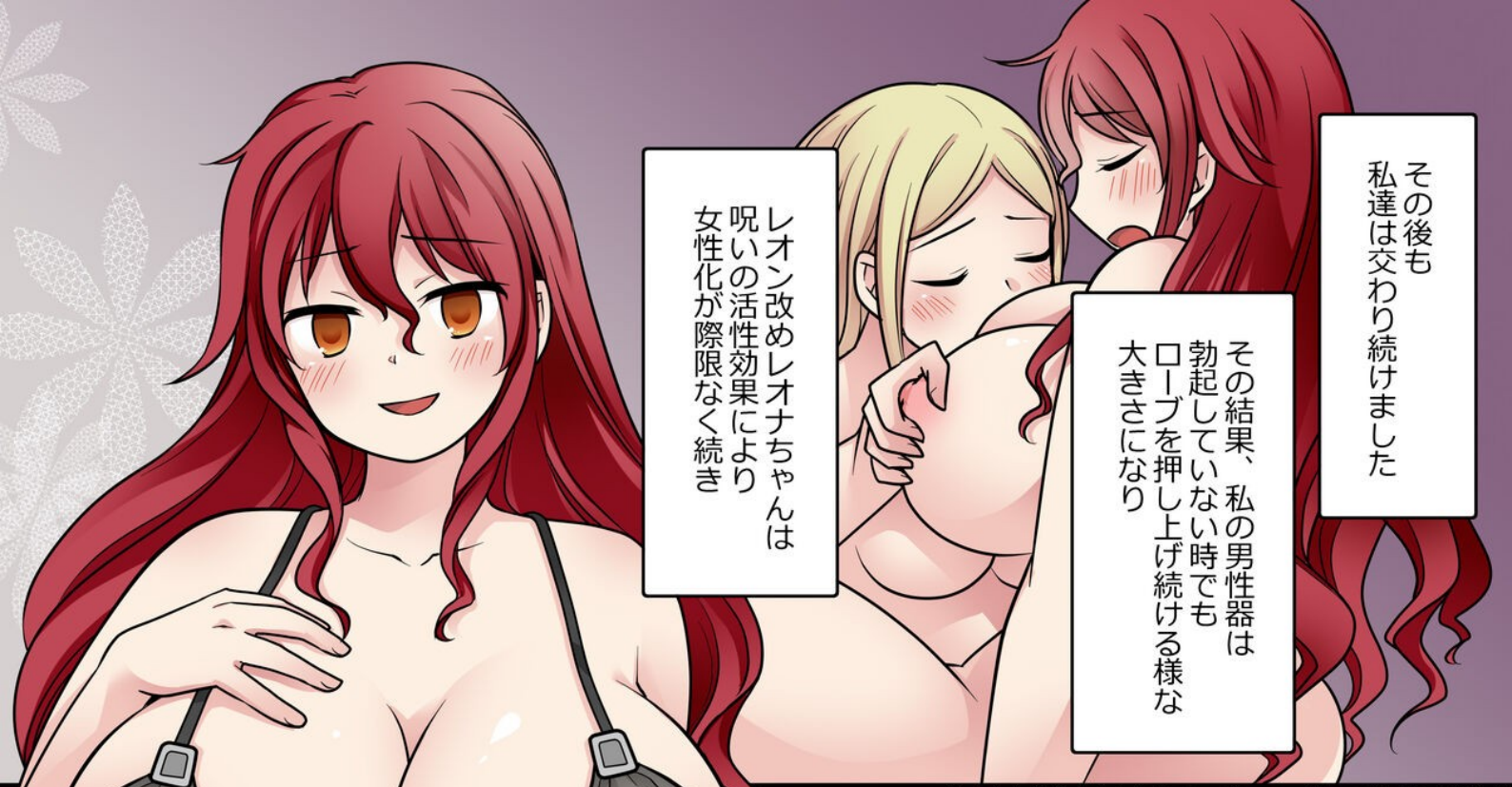
ああ!
また出ちゃいます!

っ



もう…
心も女の子に
なっちゃったんですね…





その後も
私達は交わり続けました

その結果、私の男性器は
勃起していない時でも
ロープを押し上げ続ける様な
大きさになり

レオン改めレオナちゃんは
呪いの活性効果により
女性化が際限なく続き

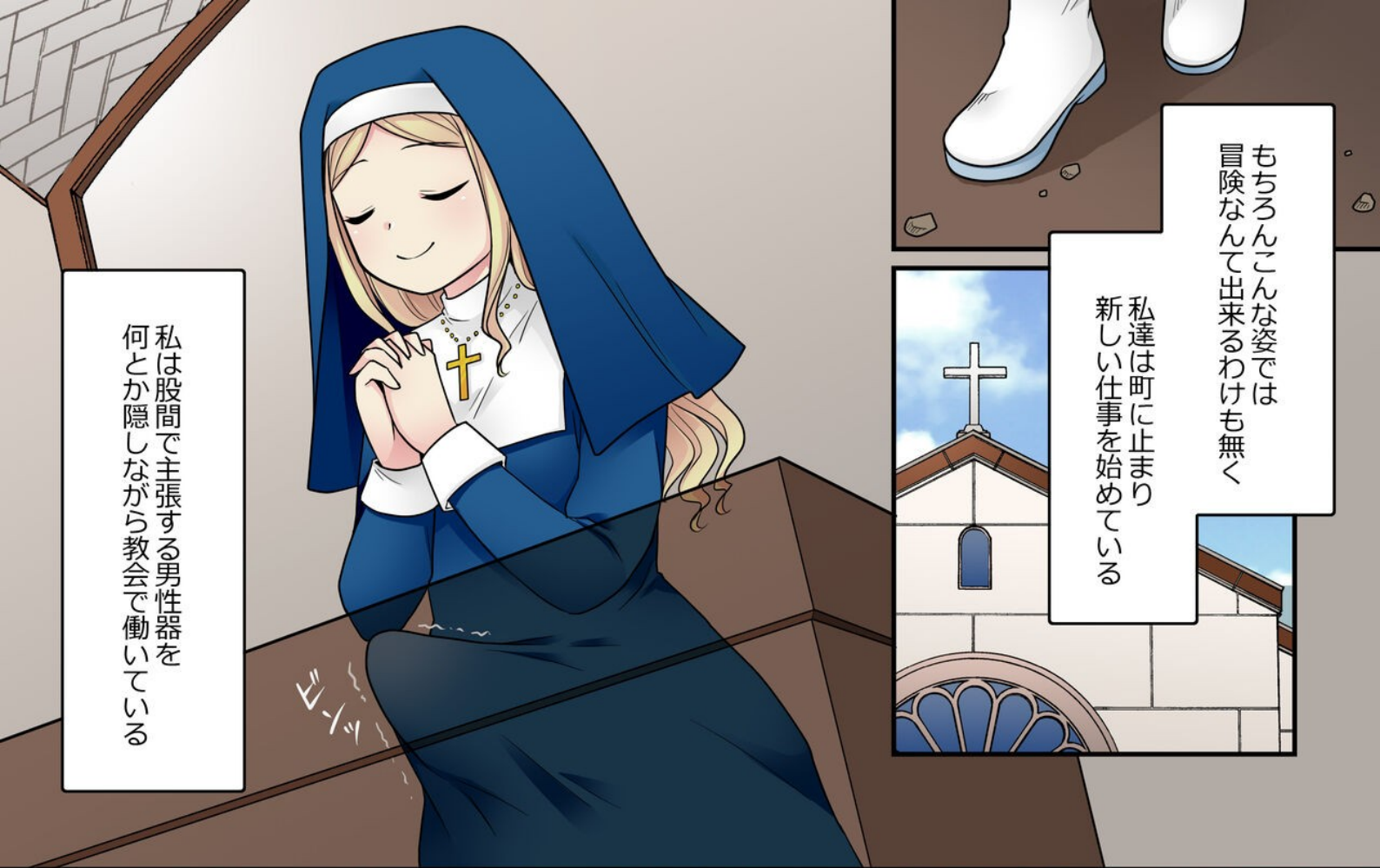


一時は私より
小さくなってしまっていたが
その身長も私より高くなり
おっぱいは爆乳と呼べるほどに
大きくなり

身体中に脂肪が付き
歩きたびにムチムチと言っ音が
相応しいぐらいの体型に
なっていました

ムチイ♡

ムチ♡



私は股間で主張する男性器を
何とか隠しながら教会で働いている

もちろんこんな姿では
冒険なんて出来るわけも無く

私達は町に止まり
新しい仕事を始めている



呪いがいつまた
活性化するかもわかりませんが
今となつてはもうどうでも良い事です

発情の後遺症は
まだまだあるみたいで
それを解消出来てお金も稼げる
夜のお店で働いています

レオナちゃんとはいうと
呪いはある程度鎮まり
外を歩けるぐらいには
回復したのですが



私以外の人と
性行為をしている所を想像すると
少し思うところがありますが…

私だけでは発情を抑えるのにも
体力の限界があります

まあ宿に帰ってから
私の極太おちんちんで
塗り替えて上げればいいだけ
ですので全然構いません



ビキッ

ああ…
今日も宿屋に帰ったら
私以外の事を
考えられなくなるぐらい
犯してあげないとすね…

スル

楽しみです…

お買い上げ
ありがとうございました

